

とよちりの1年

目指す地理研像



東洋地理研の3本柱
「国内外を問わずの社会貢献」
「地理的基礎学力の向上」
「巡査を通じた他地域の問題への関心」

春学期

4月

- ・春学期オリエンテーション
- ・新歓イベント



5月

- ・日帰り巡査①



6月

- ・春学期地理学時論大会
- ・白山祭出展手続き



7月

- ・日帰り巡査②



8月

- ・春学期宿泊型巡査



9月

- ・日帰り巡査③



隊員数

(2023年12月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	大学院	合計
男性	2	0	2	2	0	6
女性	0	1	9	0	0	10
合計	2	1	11	2	0	16

研究会の歩み

- 2020年 旧地理学研究会 設立
- 2021年 オンライン形式で全国展開（3大学の学生・社会人が参加）
地理受験生向けの一般・編入学・大学院受験指導サービス開始
- 2022年 東洋大学地理学研究会（非公認）として再設立
一般入会受付開始
- 2023年 東洋大学地理学研究会（準公認）として活動開始
独自の地理学講義「緑紺地理学講義」サービス開始
- 2024年 東洋大学地理学研究会（公認）として活動開始

支援団体様一覧：学校法人東洋大学（公認団体としての各種支援）、東雄グループ（活動資金の提供）、東雄総学（「緑紺地理学講義」で用いる教科書、試験問題の提供）

春学期

社会貢献を目指した研究会づくり

全隊員を大切にする研究会づくり

「誰一人残さない」ことを大切にした行動を目指しています。

- 1. 毎週、実施する「とよちり会」で各隊員の現況を把握しています。

・幹部のみならず一般隊員の方にも参加（対面+オンライン）していただき最近の現況（大学生活面、学習面等）を確認しています。不安なことは共有し、幹部からの適切な指導を実施し、今後の大学生活に支障がないように努めています。

・実施日の会場は教室のみならず、外部施設（公園やアミューズメント施設等）でも実施し、参加への向上心を高めるよう努めています。

- 2. 「日帰り巡査/巡査I～VI」と「宿泊型巡査/巡査VII、VIII」、「地理学演習I～15」は一人一人が主役になる活動を目指しています。

・各回の巡査の担当者は、幹部のみならず一般隊員の方にもお任せしています。各隊員には活動への責任感を持ち活動に励んでいただけるよう努めています。活動の責任者を経験し、将来社会人として就職先での実務的業務に積極的に携わることを期待しています。

・地理学演習は、一人一人が発言を行い、作業をする環境が整備されています。一人一人が地理学に関する課題に向かえるように努めています。

- 3. 様々な役割を担う主任等が、組織的な運営体制で一人一人の隊員を支えます。

・主任は、自身に与えられた作業に加え、一般隊員が抱えている不安等に積極的に耳を傾け、一緒に解決策を考えます。

・「会長」、「代表」、「副代表」、「教務主任」、「広報主任」、「とよちり主任」の間で研究会内で抱えている情報共有を行い、一般隊員を含む全員が安心して活動に参加できる環境を整備できるように努めています。

秋学期

10月

- ・日帰り巡査④
- ・白山祭準備



11月

- ・白山祭
- ・日帰り巡査⑤



12月

- ・日帰り巡査⑥



1月

- ・ボランティア活動



2月

- ・秋学期宿泊型巡査



3月

- ・修了式等式典、追いコン



大会・コンテスト参加実績

- ・大学生観光まちづくりコンテスト（2023）
- ・朝日新聞大学SDGs ACTION! AWARDS（2023）
- ・NRI学生小論文コンテスト（2021、2022）

